

## ■ 試験概要・結果

- 3号機において、PCV水位低下途中での漏えい有無の把握、長期の注水停止時の影響確認を目的に、前回の原子炉注水停止試験（7日間停止：2021年4月）より、長い期間での注水停止試験（注水停止：最長3ヶ月）を計画し、6月14日に注水を停止した。
- PCV水位は、注水停止後、概ね一定の傾きで低下し、6月19日にPCV新設温度計/水位計下端（T1/L1:T.P.8264mm）を下回ったと判断したことから、注水を再開。その後、水位の低下は概ねおさまったものの、回復傾向がみられないことから、20日に注水量を増加。
- その後、PCV水位が上昇し、PCV新設温度計/水位計下端以上となり、さらに継続して上昇したことから、PCV水位を安定させるために、7月6日に注水量を低下させた。  
[2022年7月6日までにお知らせ済み]
- 以上によって、PCV水位は概ね安定し、注水量操作によるPCV水位のコントロールが可能と確認されたことから、7月19日10時をもって、当該試験のためのデータ採取を終了し、通常監視体制に移行した。
- なお、試験中、RPV底部温度、PCV温度に大きな上昇等はなく推移しており、ダスト濃度等に有意な変動はない。
- 今後、試験結果については、評価を行い別途報告する。
- 今回の試験において、PCV水位はPCV新設温度計/水位計下端まで到達したが、この間、低下傾向は緩やかになることなく、ほぼ一定で推移したことから、漏えい個所は当該温度計/水位計下端（PCV底部から約4.2m）近傍よりも、より低い位置にあると推定されるが、今後詳細に評価する

# PCV水位の変化

## 【注水変更実績】

注水停止 : 2022年6月14日～6月19日。 ( 注水停止 : 2022年6月14日10:30  
注水再開 : 2022年6月19日15:35 (注水量1.7m<sup>3</sup>/h) )

注水量増加 : 2022年6月20日10:32 (0.5m<sup>3</sup>/h増加 : 注水量2.2m<sup>3</sup>/h)

注水量低下 : 2022年7月 6日10:32 (0.1m<sup>3</sup>/h低下 : 注水量2.1m<sup>3</sup>/h)

